

世界の中学・高校教員、日本の教育制度と文化を学ぶ

ミャンマーやカーボヴェルデなど8カ国から35名を招へい

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、海外における日本理解および国内における異文化理解の促進と、各国の教育関係者間のネットワーク構築推進を目指し、アジア・アフリカ・欧州から中学校・高校の教員や教育行政官ら計35名を2週間の日程で日本に招へいします。



滞在期間中、まず東京において日本の社会や教育制度についての導入研修を受けた後、広島・京都で伝統文化や歴史に触れ、さらに2チームに分かれて岐阜県大垣市と奈良県奈良市を訪問します。

それぞれの訪問都市では、文化施設や文化遺産の視察、教育現場の実地体験、関係者との意見交換、子どもたちとの対話、一般家庭への訪問などが予定されています。

なおこの事業では、参加者各人が、事業参加によって得た経験・知識を自国の教育現場などにおいて還元することによって、次代を担う各国の青少年の日本理解と国際相互理解感覚を促進するため、歴史・地理・政治・経済等を含む社会科、あるいは国際理解教育を担当する教員を中心に招へいしています。

- 招へい期間 2010年10月14日(木)～10月27日(水) 14日間
(10月19日(火)～24日(日)は 大垣市および奈良市訪問)

- 8カ国、35名の招へい国(人数)

インドネシア(5名)／韓国(5名)／ミャンマー(10名)／カーボヴェルデ(2名)
コンゴ共和国(2名)／セネガル(4名)／ベナン(2名)／フランス(5名)



- 各地方自体での主な訪問先・予定

大垣市:岐阜県教育委員会(教育長表敬、岐阜県教育概説)／大垣市教育委員会(大垣市教育概説)／

大垣市立中川小学校および大垣市立西小学校(授業参観・交流・給食体験)／大垣市立南中学校・

大垣市立西中学校・岐阜県立岐阜北高校・岐阜県立大垣商業高校(授業参加・意見交換・部活動参観)／

ソフトピアジャパン／スイトピアセンター／茶の湯体験／ホームステイ

奈良市:奈良市教育委員会(教育長表敬、奈良市教育概説)／奈良市立飛鳥小学校(授業参観・交流・給食体験)／

奈良教育大学附属中学校(授業参加・意見交換・部活動参観)／奈良県立奈良朱雀高校

(ボランティア活動見学・意見交換)／奈良教育大学(ESD および世界遺産教育講義)／平城宮跡・

薬師寺・唐招提寺・興福寺・東大寺・ならまち／書道体験／ホームステイ

お問い合わせ 国際交流基金 文化事業部 生活文化チーム 吉竹智美・琴屋清香
電話:03-5369-6060 FAX:03-5369-6036 E-mail: secschedu@jpf.go.jp